

取扱説明書

No.210510

COZO LIFTER

コゾウリフター(足踏み式)
BEA-H150-8C

この度はコゾウリフターをお買い求め頂きまして、誠にありがとうございました。
本機を安全に、能率よくご使用頂くために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

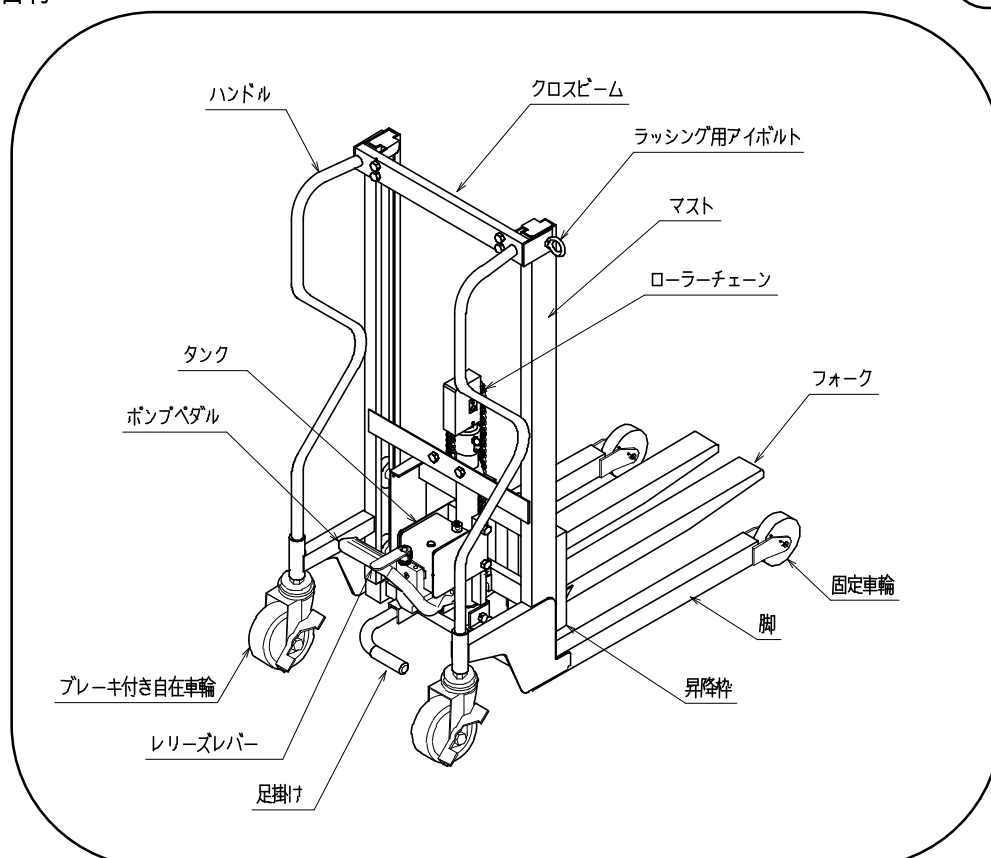
⚠ 注意

- 取扱説明書は大切に保管し、よく活用してください。
- 取扱説明書は最終ユーザーに必ずお渡しください。
- 取扱説明書や警告ラベルを破損・紛失した場合には、ただちに購入店に注文してください。
- 取扱説明書で使用方法に不明な点や疑問点がある場合は、購入店にお問い合わせください。

■ 運送上の注意

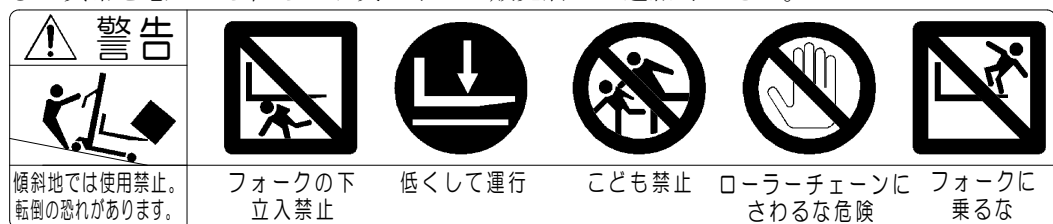
- 本機を傾けたり倒したりしないでください。
オイルが漏れたり、破損の原因となるおそれがあります。
本機の運搬の際はクロスビームを吊り上げてください。
- 車で搬送するときはフォークを下げ、自在車輪のブレーキをかけてアイボルトにラッシングベルト等を通して車に固定してください。

■ 各部の名称



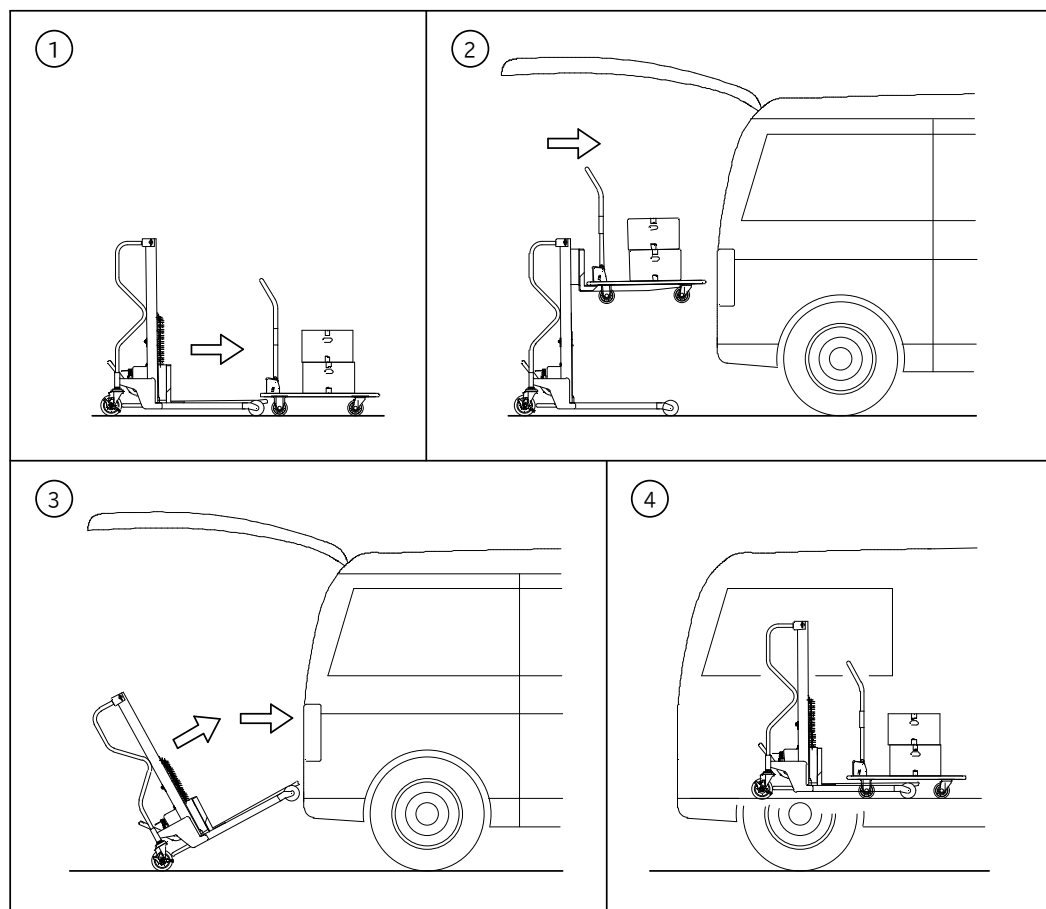
■安全上の注意

- **許容荷重**以上は載せないでください。
- **平坦で堅固な舗装路面**で使用してください。
- **屋内専用**です。屋外には設置しないでください。
- **フォークの下**に立ち入らない。乗らない。
- 本機は防水仕様ではありません。**水気**のある雰囲気で使用しないでください。
- **傾斜地**では使わないでください。転倒事故のおそれがあります。
- 積み荷は**片荷**や**集中荷重**にならないよう注意してください。
- 荷物の急降下を避けるために、リリースハンドルは**ゆっくり**回してください。
- **改造**してのご使用はおやめください。やむをえず、改造される場合はご相談ください。
- リフターの可動、昇降部分は危険です。絶対に**手足を入れない**でください。メンテナンス時には、挟まれないよう二重三重の安全対策を施して下さい。
- 駐車時は必ず車輪の**ブレーキ**を掛けてください。
- **子供**にはさわらせないでください。
- 保守、点検は専門知識と技能を持った人が実施してください。けが、火災、装置破損のおそれがあります。
- **爆発性雰囲気**中では使用しないでください。
- 異常を感じたら直ちにお買い求めの販売店にご連絡ください。



注意
許容荷重はロードセンターによって決まります。本体に貼ってある荷重曲線図を参照ください。

■使用方法



① 台車をすくう

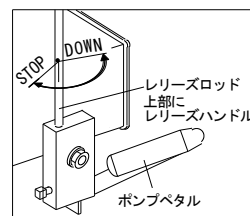
② 車の荷台に台車を載せ、台車を荷台の前へ移動させてリフターを載せるスペースを確保し、台車を固定する

③ リフターのフォークを下げ、足掛けに足をかけてリフターを傾け、前車輪を車の荷台にかけ、ハンドルを持ち上げてリフターを荷台に乗せる

④ リフターのラッシング用のアイボルトを利用してリフターを車に固定し、自在車輪のブレーキをかける

■操作方法

- ポンプのリリースハンドルを” STOP” の方向へ回し、ペタルを漕ぐとフォークが上昇します。
- ポンプのリリースハンドルを” DOWN” の方向へ回すとフォークが下降します。回し加減で下降スピードの調整ができます。
- 緊急時にリリースハンドルから手を離すだけでスプリングがリリースハンドルを締め、フォークの下降を止めます。ただし、完全に締めきる物ではありませんので、締まりきっていないときは手で締め直してください。



■オイルのにじみ・自然降下

油圧式のリフターの場合、圧力のかかるポンプやシリンダーのしゅう動部に微量のオイルのにじみが生じます。パッキンの摩擦やダストの混入によってもシール効果が弱まり、自然降下やオイル漏れが発生します。微量のにじみは落下防止策をしてウエス等でふきとり、ひどいオイル漏れの場合にはシリンダーやポンプを新品に取り替えてください。弊社規格では テーブルの降下量は最大積載荷重を負荷して15分間放置した時、ストロークの2%以下でなければならないとしています。

■保守点検

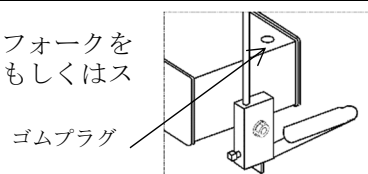
点検は必ず無負荷の状態にし、安全に充分注意して行ってください。日常点検により万一異常が発見された場合、直ちに運転を停止し原因を調査の上、対策処理を行ってください。

日常点検	定期点検(可動から1ヵ月、3ヵ月および1年毎)
■リフトの昇降動作に異常はないか ■周囲に障害物はないか ■本体外観上に異常はないか ■異常音や異常発熱はないか	■油圧作動油は不足していないか。油漏れはないか。 ■高圧ホースに亀裂や摩耗はないか。 ■溶接部の亀裂や破損はないか。 ■各接続部のボルト、ナット等の破損やゆるみはないか。

・油圧作動油の交換・補充

油圧作動油は500時間運転又は3年経過毎に交換してください。交換する時はフォークを下げ、最高位まで上昇するかで油量を判断して下さい。使用オイルはタービン油もしくはスピンドル油です。

オイル粘度と最大量・・・T0-SP22-N(ISO.VG22)ー 約700CC



■簡単な修理

- ペタルを漕いでもフォークが上昇しない場合
ポンプレリースハンドルを” DOWN” の方向へいっぱい回し、ペタルを数回早く漕いでください。(空漕ぎする) この操作をすると大抵の場合直ります。
- ポンプを漕いでも1回でフォークがが上昇する量が規定より少ないとき
ポンプに空気が入っていますので手前を持ち上げて傾けながらポンプを漕いでください。
- レリースハンドルが回らないとき
リリースハンドル(リリースロッド)の下のリリーススクリューを直接反時計回りにプライヤー等で回してください。ポンプ内でねじが噛みこんでいるのをもどきます。

■仕様

	型 式	許容荷重	フォーク・テーブル寸法			全長 ×全幅 ×全高(mm)	ポンプ回数	自重
			フォーク長さ		高さ			
		(kg)	L. C.	L	MIN-MAX			(kg)
車載用	BEA-H150-8C	150	300	600	100-820	10350×558×1100	25	45

検査合格証

本機は下記の検査項目に合格しております。

- (1) 使用上有害で大きな、きず・ひずみ・ひび等のないこと。
- (2) 指定通りの塗装色であり、有害な塗装欠陥のないこと。
- (3) 溶接面に目視できる有害な溶接欠陥のないこと。
- (4) オイル量が足りていること。
- (5) エア噛みがないこと。
- (6) 昇降動作に異常が無いこと。
- (7) 最大積載荷重を負荷して最高位から最低位まで昇降させた後、荷重を取り除き各部の異常がないこと。
- (8) 最大積載質量をテーブル面に負荷し、最高高さまで上昇させて15分間放置した時の降下量が揚程の2%以内であること。
- (9) 最大積載質量をテーブル面に負荷し、リリースハンドルをストッパーが当たるまで回しても急降下しないこと。
- (10) 無負荷で、リリースハンドルをストッパーが当たるまで回した際、途中で止まらず、下限まで下がること。
- (11) 油漏れがないこと。
- (12) 製造番号等ラベルが所定の位置に貼り付けられていること。

品質保証書

お買い上げ日より1年以内に正常な状態で使用して故障し、弊社がその欠陥を認めた場合には無償修理致します。

お買い上げ年月日 年 月 日

型番

お客様

ご住所
お名前

様

販売店

住所
店名
TEL

印

<無料修理規定>

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼ください。
なお、離島及び遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご贈答品等で、お買い上げ販売店に修理依頼ができない場合には、本書に記載されている本社もしくは各営業所、サービスセンターにお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、及び損傷。(ロ) 組立・取り付け不備による故障、及び損傷。
(ハ) お買い上げ後の場所移動、落下等による故障、及び損傷。
(ニ) 火災・地震・水害・落雷その他天災地変・公害による故障及び損傷。(ホ) 本書の提示がない場合。
5. 日本国以外で使用された場合、すべてに責任を負えません。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げ販売店または本書に記載の本社もしくは各営業所、サービスセンターにお問い合わせください。

総発売元

トラスコ中山株式会社

お客様相談室



0120-509-849

〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号

E-mail: techno.center@trusco.co.jp

<http://www.orange-book.com/>